



2018年10月18日

東京都港区愛宕2-5-1
愛宕グリーンヒルズ MORI タワー19F
株式会社エボラブルアジア
代表取締役社長 吉村 英毅

企 業 情 報

エアトリ社（旧 DeNA トラベル）買収後の 営業黒字化のお知らせ

One Asia のビジョンをかかげ、アジアを舞台に、オンライン旅行事業、訪日旅行事業、IT オフショア開発事業と投資事業を手掛ける株式会社エボラブルアジア(本社：東京都港区、代表取締役社長：吉村 英毅、証券コード：6191、以下当社)は、当社グループ会社である株式会社エアトリ（旧 DeNA トラベル）（本社：東京都新宿区新宿 5-15-5 新宿三光ビル、代表取締役社長：吉村 英毅、以下エアトリ社）の買収後の 2018 年 9 月期の業績において、営業利益の黒字化を達成したことをお知らせいたします。

当社は 2018 年 5 月 31 日に、旧 DeNA トラベル（現エアトリ社）の株式の 100%を取得し、子会社化いたしました。子会社化後に統合効果を最大化すべく、当社およびエアトリ社合同の PMI プロジェクトチームを組成し、早期業績改善へ向けて尽力してまいりました。

子会社化前においてエアトリ社（旧 DeNA トラベル）は営業赤字（2018 年 3 月期が通期営業赤字 19 億円、子会社化直前の 2018 年 5 月月次で営業赤字 88 百万円）となっておりました。

子会社化後に PMI の過程で以下のような施策を実施してまいりました。結果として早期に各種施策の効果が現れ、統合後の 4 ヶ月（6 月～9 月）累計の業績において営業黒字化を達成することとなりました。

PMI プロジェクトにおいて実施した主な施策は以下となります。

① トップライン面

- マーケティング統合（株式会社 DeNA トラベルから株式会社エアトリへ社名変更をし、サービスブランドを「エアトリ」に統一、両社のサイト統合も実施しました。）
- 顧客の相互送客
- 人的リソースの相互補完

② コスト面

- 取引条件変更（クレジットカード手数料、広告代理店手数料等）によるコスト削減
- 人員配置の最適化（当社も含めたグループ会社への出向）
- システム投資の効率化

※なお、当リリースの前提となるエアトリ社の営業利益は速報値であり、監査法人の監査を受けておりませんので、今後修正される可能性があります。

今後も当社とエアトリ社の事業シナジーを最大限に活かして、両社のさらなる事業拡大と業績向上に努めてまいります。

本件に関するお問い合わせ

株式会社エボラブルアジア 取締役 CFO 柴田 裕亮
TEL : 03-3431-6191 FAX : 03-3431-6192
Mail : info@evolableasia.com



EVOLABLE ASIA

【株式会社エボラブルアジア】

本社 : 東京都港区愛宕 2-5-1 愛宕グリーンヒルズ MORI タワー19F

社名 : 株式会社エボラブルアジア

代表者 : 代表取締役社長 吉村 英毅

資本金 : 1,069,291 千円 (払込資本 3,252,715 千円)

URL : <http://www.evolableasia.com/>

【株式会社エアトリ】

本社 : 東京都新宿区新宿 5-15-5 新宿三光町ビル

社名 : 株式会社エアトリ

代表者 : 代表取締役社長 吉村 英毅

資本金 : 1 億円

URL : <https://www.airtrip-corp.com/>

【当社サービスサイト】

総合旅行プラットフォーム エアトリ : <https://www.airtrip.jp/>

ビジネストラベルマネジメント (BTM) 事業 : http://www.evolableasia.com/service/online_travel/btm/

IT オフショア開発事業 : <http://www.evolableasia.com/service/offshore/>

【当社 IR サイト】 : <http://www.evolableasia.com/ir/>

本件に関するお問い合わせ

株式会社エボラブルアジア 取締役 CFO 柴田 裕亮

TEL : 03-3431-6191 FAX : 03-3431-6192

Mail : info@evolableasia.com